



# ネイチャーなら

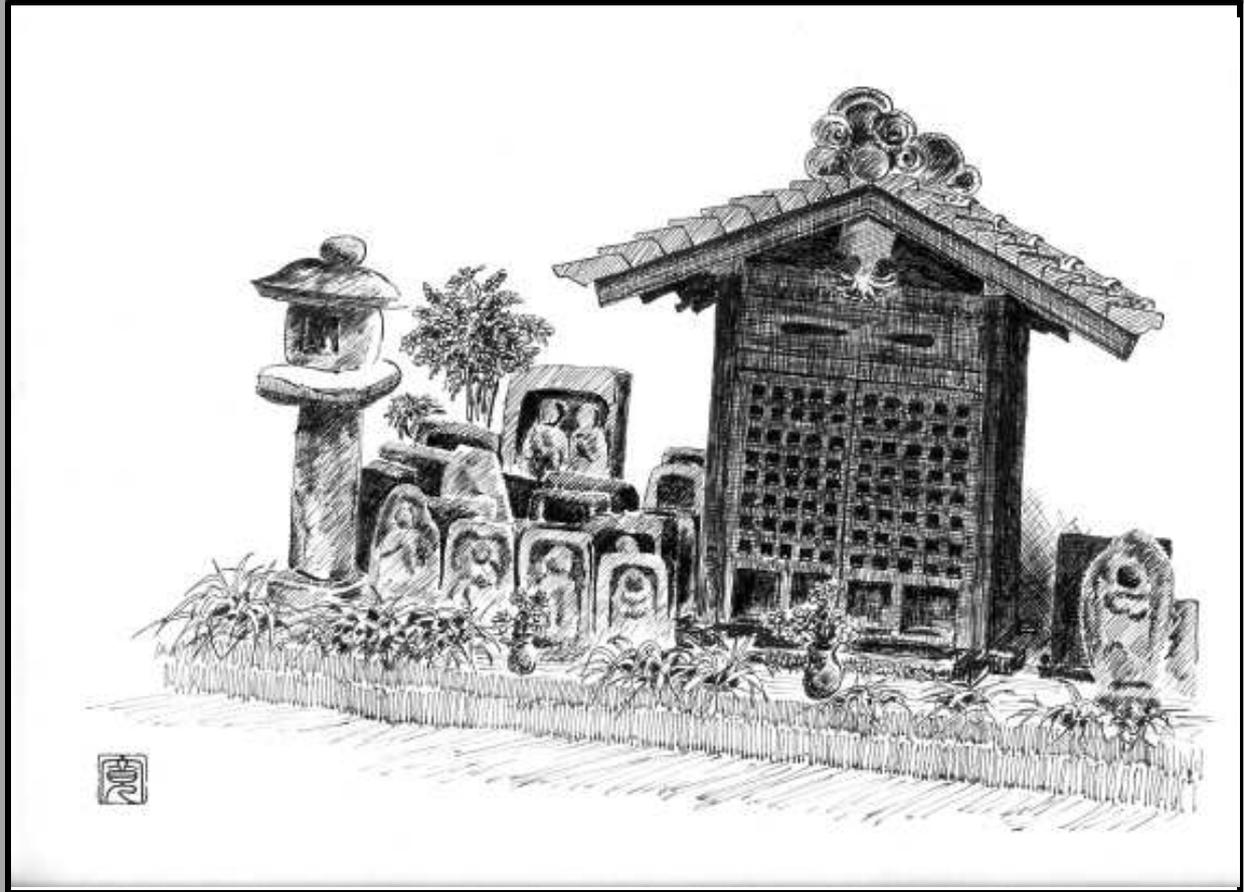
発行2012年5月1日

第124号

奈良・人と自然の会

会長 阿部 和生

《わたしたちは大和の自然を愛します》



§ § § § §

## Contents

§ § § § §

リレー随筆・お元気ですか！……………	①	青垣春秋……………	⑩
イベントレポ1……………	③	自然俳句……………	⑪
イベントレポ2……………	④	癒しの散歩道&里山団欒……………	⑫
Monthly Repo.ならやま……………	⑤	今年度の例会活動……………	⑬
自然観察レポ……………	⑥	行事案内1……………	⑭
やさしい昆虫講座⑩……………	⑦	ならやま景観整備&行事案内2……………	⑮
鳥シリーズ&地域情報……………	⑧	大和伝統野菜&ならやまのph……………	⑯
美味旬感……………	⑨	幹事会報告・ペン画に寄せて・編集後記……………	⑰



## 私は犬？

勝田 緑

ベック・ビク・ココア・バディ・オレオ・ポチ・レオ・ボブ・モモ・ハナ・ゲン・ダイ・ゴンタ・・・朝の散歩の途中に出会う犬達です。まだまだ名前を覚えられていない子も沢山います。

初めての犬でも眼と眼が合うと、「この子は仲良くしたがっているな。」と感じられます。姿勢を低くして手を下から近づけます。大体の子は、これで友達になれます。ベックは大型のコリー、飛びつかれると私の背と同じ高さになります。ビクはⅡ世です。前のビクは「前世この家に飼われてたのと違うか？」と飼い主さんが言う程、私達になついてくれています。夫は「こんなにすぐに犬と友達になり、犬の顔を見てすぐに名前がわかるなんて、君は人間の姿をした犬やわ。」と言います。

ご近所の犬達も、我が家の前が公園なので、散歩に集まって来ます。また犬達と遊びます。ポポ・トラ・カイト・гентク（お年寄りを癒すボランティアをしています）・・・犬達に時々、勢い余って顔をなめられたりします。夫は「帰ったらきつと飼い主さんうがいさせはるわ。」と笑わせます。

最近仲良くなったアフガンハウンドのカイトくん、ふさふさの毛で美男子です。我が家の近くに来ると、必ず寄ってくれます。

こんなに犬の友達がいるなんて、「本当は私、犬でしょうか？」皆さんどう思われます？

## 癒してくれる”ならやま”に感謝

川勝孝雄

10年間の活動に対しての感謝状は、想像出来ない自分へのプレゼントになりました。家内に「活発な活動をしていないので辞退しようか。」と相談したら、「気持ち良く受けたら」と勧められました。

実母の介護を一昨年までしており、活動日には必ず出席出来ない状況でした。現在は義母の世話に家内が毎週出掛けている状況にあります。このような環境で”ならやま”の活動に参加出来ることは、何もかも忘れる時間です。マイペースで作業が出来ることも、日頃の煩わしいことを忘れる一時でもあります。

現役引退後、好きな家具木工の勉強をしながら、机・キャビネット等を作った経験を活かす活動でお役に立てればと思い入会いたしました。

当初は、子ども達の出前教室に積極的に参加し、樋口先輩の指導の下で、お手伝いをさせていただいたことも楽しい思い出です。

フィールドの椅子も、当初は子ども達が工作する時の作業台として作った物の改良品です。

孫との”芋掘り””昆虫採集””リース作り”に、親子三代で参加させていただいたことも、記念すべき思い出になっています。

このような雰囲気のを運営し、お世話いただいている幹事の皆様の大変なご努力には、感謝・感謝でございます。



## 森林インストラクターを楽しむ 寺田正博

昨年、森林インストラクター資格登録10年になりました。会報の新年号にも「森林インストラクター一年生になりました」とのご挨拶報告をさせていただきました。

奈良森林インストラクター会では、奈良県の依頼で森林観察会の案内をすることがあります。また、奈良県人材フィールドバンクにも登録しておりまして、こちらの方よりも時々要請があり、楽しく観察会のご案内をさせていただいております。

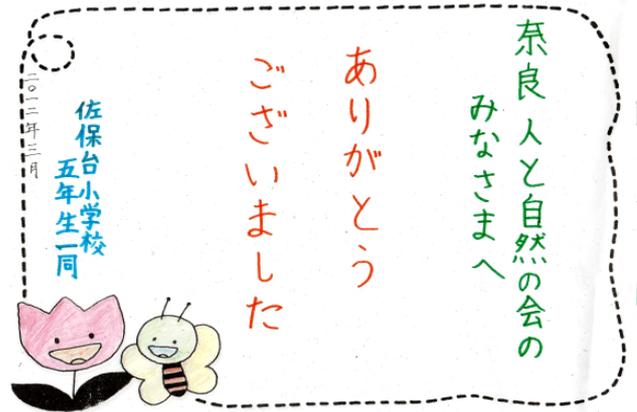
毎年全国森林インストラクター会の研修会が、数カ所で行われますので、全国の方々と交歓することが出来ます。現在、全国で3622名の方が登録（当会には3名）されておりますので、旅行の時にはお世話になることがあります。

また、森林インストラクター受験養成講座が、大阪で行われていますが、毎年講師を担当させていただき、受験者の方々のお役にもたってきたと思っております。



## 折 節 寸 感

野菜畑の準備のため、備中鍬でせっせと耕していると、あのジョウビタキが、人懐っこく寄ってきて、しばらく振りの対面である。今年は、来ないのかなと半ば諦めていたのがあった。それだけに思わず「よう来たなあ！元気でいてくれたんだなあ。」と、ジョウビタキにかたりかけたもんだ。周りを見たが、誰もいない。ミミズのご馳走に満足気だった。（里山人）



## 美味しさは格別

### 感謝の気持ちで食事

佐保台小5年生の元気っ子たちから、半年間にわたり体験した「水稻づくり」について、感想と礼状が届きました。

- ◆ 田植えの時、植えやすく一直線に綺麗に植えることができたので、大変嬉しかった。
- ◆ 水田の昆虫などの生き物観察では、知らなかった生き物を教えてもらって、とてもよくわかりました。
- ◆ 足踏み脱穀機とコンバインの効率に、大きな差があることに驚きました。
- ◆ 毎日何気なく食べているお米が、こんなに沢山の方々の努力と苦勞によってできていたことに驚きました。
- ◆ 赤米入りのご飯の美味しさは格別です。
- ◆ 今は前よりもっと感謝して食事をしています。

そして、担任の先生からも、次のようなお便りが添えられていました。

普段の暮らしの中では、どの子もなかなかできない体験なので、多くの驚きや喜び、苦勞などを感じることができ、とても有難く思っています。

子どもたちから、お礼をと思いながら、日々の学習やその時々行事に追われて、年度末になりましたが、1年を振り返り、子どもたちの素直なお礼の気持ちを受け取っていただければうれしく思います。安全にスムーズに、そして心に残る体験ができるように、色々のご配慮いただき、本当に有り難うございました。

## 続・リレー随筆

奥飛鳥で

『Forest River』を始めます!!

森川 生一

遠くから里山を展望すると、日々の変化が著しく、まるで緑の雲がモクモクと湧いてくるように見える季節になりました。皆さん、お元気ですか。森林環境教育指導者養成講座の同期メンバーと共に入会して久しくなりますが、椎茸づくりのイベント以外はほとんど参加できずにいます。定年退職したらもっと活動したいと思っていましたが、次のお仕事をさせていただくことになり、もうしばらく、平日の活動には参加できません。残念です。

一方、生まれ故郷の奥飛鳥でも、間伐されていない針葉樹林の線香林化が広がってきていましたので、定年退職したら仲間と共に森林環境教育のフィールドを造り、並行して、間伐ボランティアができないかと考えていました。これについては、1月からフィールド造りの準備会を始めました。1年間は準備会として月1回の日曜日、ベースフィールド造りと、奥飛鳥の季節変化を体感しながら森林環境教育のプログラム作りを試行しています。本会の里山イベントも参考にしながら、フィールド『Forest River』を活かしたプログラムを作っていきたいと思います。奥飛鳥の自然を堪能しながら、無理せず、できることからコツコツと活動します。まずは、皆さんと奥飛鳥を楽しむこと。まだ人数が少ないので、明日香村に興味を持っている方、奥飛鳥の自然を楽しみたい方、針葉樹林の管理技術や間伐技術を持っている方がおられましたら、ぜひ指導・協力をお願いします。ご連絡ください。

晴耕雨読の生活は、まだ先になりました。本会の活動、『Forest River』の活動等々、毎日を楽しみながら、元気に過ごしていきたいです。



## 菜の花ウオーキングに 205人が参加しました

4月7日(土)北風が吹く肌寒い日でしたが、午前10時には175人が新大宮駅北口を出発、佐保川堤や興福院などの桜を愛でながら、佐保自然の森を経由して、ならやまフィールドまでウオーキングを楽しみました。



ならやまでは古川さんから里山保全の取り組みが報告され、菜の花クラブのメンバー紹介・菜の花プロジェクトの取り組み紹介などをおこないました。

また「奈良・人と自然の会」有志メンバーとならコープスタッフによる「味噌汁と菜の花や野草の天ぷらの振るまい」があり、市街地に残る里山の自然を満喫しました。

午後からは空模様があやしくなってきたため、予定を早めて佐紀盾列古墳群に向けて元気に出発することができました。

(豊島すみ子)



## 4月例会報告

### 吉野宮滝・万葉の道から満開の吉野山を歩く

実施日： 4月17日(火) 晴れ

参加者： 23名

コース： 近鉄大和上市駅（バス）宮滝バス停—桜木神社—水分神社への分岐—  
上千本・花矢倉展望台—中千本・五郎兵衛茶屋—下千本・七曲り—近鉄吉野駅

「一目千本」と言われる吉野の桜が満開を迎えた4月17日(火)、天気は上々、期待に胸踊らせながら、集合場所の大和上市駅から臨時バスで宮滝へ向かった。宮滝バス停から10分ほど歩いた桜木神社で、行程の説明と準備運動の後、吉野宮滝・万葉の道からハイキングコースへ向かった。



水量豊かに流れ落ちる高滝を見学し、なだらかな（人によってはきつい？）坂道の杉林をゆっくりと進む。参加者に少々疲れが・・・と感じ始めた頃、一気に視界が開けて、桜の花が目に飛び込んできた。「ワー、きれい！」と歓声があがった。山の緑にピンクの桜、街の公園で見る桜らとは一味も二味も違った風景である。



更に進むと、見渡す限り桜・桜の花矢倉展望台へ到着。これぞ吉野の桜と思われる素晴らしい景色をしばし堪能し、昼食場所に向かった。桜に囲まれていただいたおにぎりの味は、ひときわ美味しく感じられたことは言うまでもないこと。上千本を過ぎ、中千本の五郎兵衛茶屋近くのポイントで、素晴らしい満開の桜に見とれ、吉水神社を通り、更に下って、蔵王堂へ。ここからは、仏像を見学する人、ケーブルで下りる人、下千本をみながら七曲りを歩く人と思ひ思ひに吉野駅へと向かった。



今年は、開花が遅かったことで、八分咲きの上千本、満開の中千本、散り始めの下千本と全ての場所の桜が同時に鑑賞でき大変ラッキーであった。

「天気も良く、上千本から下るコースも良く、最高のお花見ハイキングで、桜を満喫した。」と、参加された方が満足そうに感想を述べられていた。

今回、久しぶりに参加された方、初参加の方、会員以外の方の参加もあり、新しい出会いがあったことも嬉しいことであった。 **（平岡久美）**

## Monthly Repo. ならやま

**3/22(木) 晴** [参加者51名]

午前中は一斉ゴミ収集を行う。里山Gは29地区整備。業者の手で灌漑用溜池改修工事が始まる。午後から新人歓迎会、新入会員11名を迎えてバーベキューを楽しむ。自家製の鯖寿司等の差し入れもあり、会員相互の会話が弾んだ。

**3/29(木) 晴** [参加者41名]

里山GはN029地区の整備。農園Gは大和芋の植付け、牛蒡、人参、大根の種まき、田圃の水張り等を行う。景観Gはバラタナゴ池の整備。椎茸春子の収穫。灌漑用溜池の安全柵設置、テント倉庫増設を行う。念願の駐車場の路面整備が完了。



**4/5(木) 晴** [参加者41名]

午前中は4月3日の強風による倒木(10本)、竹の処理。里山Gは28、29地区の基礎整備。農園Gは真菜、ビタミン菜の播種、里芋(4Kg)の植付。景観Gは新池の泥浚い、大池の竹垣整備と生き物調査を行った。

**4/7(土) 曇** [参加者11+194名]

本日はならコープ主催の菜の花ウオーキング(当会は豚汁、野菜てんぷら作りの協力)。

参加者175名は近鉄新大宮駅に集合。

佐保自然の森、ならやま里山林経由でベースキャンプに到着、昼食後、平城宮から近鉄平城駅へ向かった。参加者全員がならやまの景観の美しさに見とれていた。



**4/12(木) 晴** [参加人員41+7名]

午前中はならやま大通りの竹、笹、ゴミの処理。県風致景観課の横井主幹、坂野係長他1名が来訪。農園Gは空心菜、ワサビナの播種、里芋(14Kg)の植付け。景観Gはギボウシ等日陰植物の植替えを行った。筍は豊作であった。

午後から近畿大学北川准教授他3名の来訪があり、ニッポンバナタナゴのために放流した二枚貝が順調に棲息していることを確認した。

**4/19(木) 晴** [参加者41名]

里山Gは椎茸ホダ木の天地返し、新ホダ木の立てかけ作業。農園Gは茄子の苗床の準備、各種野菜畑の手入れ。景観Gは大池での生物調査とアオミドロの除去、新池堤体補強、水路整備。やまぼうし(4本)の植付、アジサイの植替えを行った。

本日も筍は豊作だった。県から自走式チップパーを借受け、彩りの森の伐採木の粉碎処理を始める。

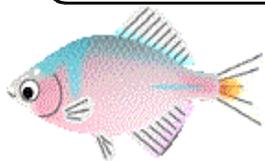


(藤田秀憲 記)

## 自然観察レポ

### \*ペタキン日記\*

羽尻 嵩



奈良の方言で、  
ニッポンバラタナゴを  
”ペタキン”という。

#### 3/29(木)

新入会の4名を入れ7名で、下段の土掘りと波板・竹組での土留め、コンクリートブロックの設置までを終えた。

重労働であったが、知恵と力と協業の成果が出た。最大の山場を越え、先が見えてきた。

#### 4/3(火)

爆弾低気圧が通過していったが、ならやまは大きな被害はなかった。

#### 4/8(日)~9(月)

ならやまに春に浸りに行く。流れる水の音が心地よい。

“春の小川はサラサラ行くよ~♪”

#### 4/12(木)

桜満開の春。タケノコをいただきました。

新池は5名の力で、ほぼ完成。午後には、近大の北川先生と学生がこられ、貝さん10個が元気であることが分かった。

これから貝の友達となるシマヒレヨシノボリさんを捜していただきます。

よろしく。

### \*ならやま里山林鳥だより\*

小田 久美子

新会員田中さんを迎え、「佐保自然の森」などゆっくり案内、菊川・小田3人で15種45羽確認しました。サンコウチョウが横枝に止まりましたが、直ぐ飛んでしまいました。午後もう一度確認しに出かけましたがいませんでした。渡りの途中での一休みだったのでしょうか。そしてシロハラがグゼリ(囀りの練習)が聞かれたのはとてもラッキーでした。

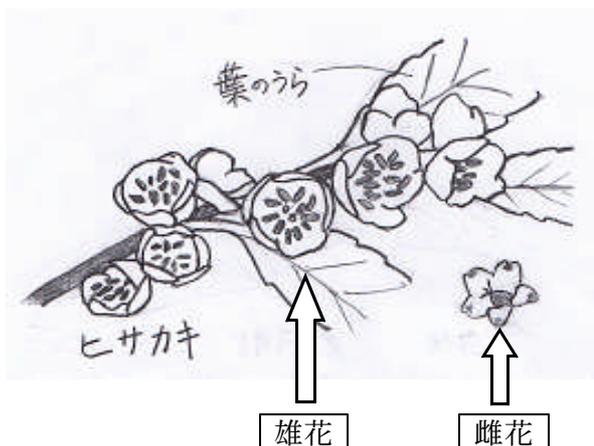
### \*ならやま里山林花だより\*

山中 笙子

#### 4/12(木)

春本番がようやく里山にも訪れ、花の咲いている木を眺めたり、花より先に紫色の小さな幼葉を展開させている、名前を知っていたはずの木も、何の木だった?なんて考えながら歩くのは、楽しいものです。

よく見られるのがヒサカキで、3月初めに枝の下側にびっしり黒い蕾を付け、3月終り~4月頃5ミリ程の淡黄色の小さな花を咲かせていました。花の中を覗くと沢山の雄しべが見え、雄木でした。雌花はやや小さく、雌しべの先が3本に分かれ、雌雄別株でした。大阪ガスに似た独特の臭気が、鳥を惹きつけるのか、実はヒヨドリの好物だそうです。



#### \*木の花

オオシマザクラ、シダレザクラ、ヤマザクラ、スモモ、ヒサカキ、ガマズミ(蕾)、コブシ、ミツマタ、レンギョウ、コバノミツバツツジ、クヌギ、タチヤナギ、ユキヤナギ

#### \*草花

シハイスミレ、タチツボスミレ、ニョイスミレ、セイヨウタンポポ、オランダミミナグサ、ヘビイチゴ、ムラサキケマン、ノボロギク、ゲンゲ、カラスノエンドウ、コオニタビラコ、スズメノエンドウ

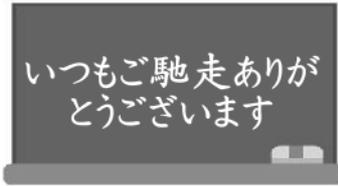
#### \*花壇

フキ、ショカツサイ、スズランスイセン、ラッパスイセン、チューリップ、キンセンカ

# やさしい昆虫講座

19

木村 裕



夏の風物詩？  
「蚊」のオバサンも2枚羽根で、ハエやアブ

の仲間です。人間さまからは吸血鬼として嫌われていますが、私たち蚊にとっては子孫繁栄がかかっていますので、人や犬、鳥には迷惑をかけると思いつつも無断で貴重な栄養豊かな血液を分けていただいております。それゆえ、近年表彰状を授与しようかとの話もあがっております。

蚊のお子さまのボウフラは池や沼などに住んでいて、小さな微生物を餌にしています。長細い体で棒を振るように泳ぐので「棒振ら」「棒振り」と呼ばれています。その多くは成虫になるまでにお魚やヤゴの胃袋に収まっています。また成虫の蚊はトンボの餌となっており、自然界の生き物の食糧源となりおおいに役立っていますので、ほんの僅かばかりの献血には協力のほどお願いしたいとの伝言を受けています。

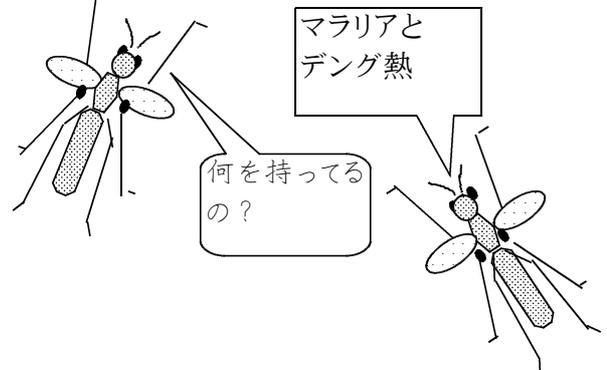
蚊は普段は植物の蜜や果汁を吸っていますが、メスのみは卵の熟成にはたんぱく質が必須のため、止むに止まれず新鮮な血液を求めて博愛精神旺盛な親切な方を探し回っています。酔っ払って炭酸ガスを大量に排出する人や体温の高い人はお得意さんです。

多くの蚊は夕方から出勤しますが、竹の切り株やお墓の花立てなど僅かの水たまりで繁殖するヒトスジシマカなどのヤブカ類は昼間から手ぐすねをひいてカモがやってくるのを待っています。また、変わり者の蚊は、塩分いっぱいの海岸の水たまり、アナナスの筒の中、食虫植物のサラセニアの袋、などを住みかとしています。

蚊は吸った血液が固まってしまうと困るので、まず食事前に血液が固まらない液体を注

入する儀式を行います。吸い終わればその液体も回収するので、蚊に満腹するまで吸わせてやれば痒みはあまりないとも言われています。そこまでは辛抱できますかね？

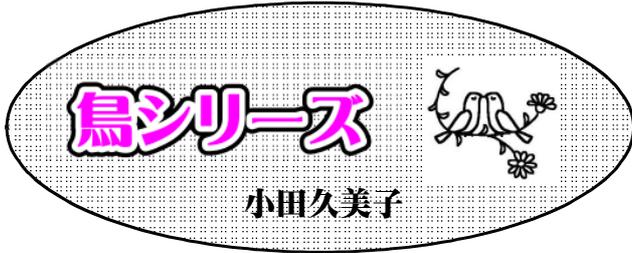
蚊のもうひとつの罪は病気を媒介することです。その最も有名なのがハマダラカによって媒介されるマラリアです。微小な原生動物が犯人ですが、幸いにも日本では発生しておりません。デング熱（天狗熱ではありません）は熱帯地方にごく普通に発生するウイルス病で、感染すると1週間、高熱と筋肉痛に悩まされます。私が2年間住んでいたパナマの市街地でもときどき発生していました。



飼い犬の大きな死亡要因となっているフィラリアも蚊によって運ばれる病気です。糸くず状の線虫がリンパ管や血管を詰まらせるのが原因です。昔日本でも発生した象皮病（足が異常に浮腫んだり、金玉が大きくなるなど）も蚊が移すフィラリアです。申し添えますが、犬に寄生するフィラリアは人間には寄生しませんので愛犬に触れても問題はありません。

3～4月頃に現れる蚊の集団をご存知でしょうか？寒い時期に庭の片隅で蚊柱を作って踊り狂っているのがしばしば見られます。これはフユユスリカという虫ですが、血を吸うことはありません。成虫は1～2日の寿命で飲まず食わずに交尾・産卵して一生を終えます。幼虫は赤色で、ミミズのように細長く、やや汚れた下水の流れ内に住んでいます。体をいつも揺れ動かしているのがユスリカと言う名前がつけられたそうです。





◆◆◆ここはお気に召しませんか?◆◆◆

## “サンコウチョウ”さん

4 / 9 (月)のならやまで「サンコウチョウ」を見ました。尾が短いので雌か若鳥だと思われれます。午後もう一度出かけましたが会えませんでした。サンコウチョウはスズメ目カササギヒタキ科の鳥で、♂は全長45(尾が30)センチのコバルトブルーのアイラインと嘴を持ち、その上鳴声も大変魅力的な鳥です。「フィーフィーハイハイ!!」と囀る声を「月・日・星」と聞きなして、三つの光の鳥「三光鳥」。朗らかな声から馬追い鳥という別名もあります。

雌はほとんど地鳴きの「ギーギー」ですが、警戒している時や進入して来た外敵に対して

は雄と同じような鳴き方をします。夫婦交代で巣作り・抱卵・餌運びをする仲の良い鳥です。私たちが見た所は、渡りの途中の休憩場所だったのかも知れませんが、お気に召したら滞在してもおかしくない環境の所でした。秋渡りの前に雄の長い羽は抜け、雌と同じ位になって東南アジアに向います。落ちた羽を見つけないものです。

♀のブルーは沈んだ色、背も茶色で尾が短いので体長は18センチですが、体だけだったら♂♀共スズメ程の小さな鳥です。



**地** ★ 3 / 27 (火)

倉田さんと奈良学園に出向いた時、イソヒヨドリの囀りを聞きました。2年前40日程の調査で巣立ちを確認していましたので、また、調査してみようと思っています。

近年内陸に進出している「イソヒヨドリ」私だけで10ヶ所になります。皆さんの目撃情報お待ちしております。

★ 3 / 28 (水) (斑鳩)

ツバメ初認 (2羽) 去年は、3 / 8。  
\*春の鳥達の行動が目立ちだしました。  
一羽のモズが電線で羽を広げ小さく鳴きながら、もう1羽のモズに何かアピールしています。どうも求愛行動のようです。

**情**

**域**

以前「これ何の鳴き声？」と思ういろいろな鳴き声が聞こえてきました。木の間を探すと、モズがさまざまな声で鳴いていました。(これも求愛行動) あの怖い顔で・・・そのギャップが面白かったです。

\*河合町の大和川河川敷でキジ、ケーンと言う鳴き声で縄張りを主張しています。今のところ2羽の声と姿を確認しています。

★ 4 / 13 (金) 竜田観音さんの前でアカハラを見ました。15日には2羽がいました。残念ながら写真は撮れていません。今年はシロハラは来ませんでした。(勝田)

**報**

# 美味旬感

## リョウブ

この季節は食べられる野草が沢山採れるが、今回は木に目をむけてみよう。

木々も色とりどりの若葉を展開するので、山はさまざまなパステルカラーに彩られる。

リョウブは日本中の山地に分布しており、奈良県でも至る所で見られる木である。木肌の薄い皮がまだらに剥げ、白っぽい茶褐色の幹ですぐ見分けられる。この木は、昔、飢饉に備えて採取や貯蔵などの令法(りょうぶ)が発せられたので、この名がついている。

夏に白い花穂が放射状に咲いて美しいが、食べるのは若葉の方で、枝先に輪生状にかた

## 自然をちよっぴりいただきます!

西谷 範子

まっけて付く。沢山採れるが新芽は硬いので、できるだけ早くごく若い葉を採取する。若い葉を塩茹でして、水に少し晒して使う。薄味で汁がなくなるまで煮付ける。また、きざんでご飯にまぜると、ほろ苦いリョウブ飯になる。

最も昔の救荒植物としての保存方法は、茹でた新芽を干して保存し、戻してご飯に炊き込むらしい。あまりおいしくないと思われるが、新芽の根元にかすかな甘味があり、飢饉時の知恵であったらしい。

もちろん若葉の天ぷらも美味である。ちなみにこの時期、葉っぱの天ぷらは他にコシアブラ、タカノツメがおいしい。

## 奈良学 & 難読野菜名クイズ

【問1】在原業平所縁の寺院について、正式な寺号は、金○山○○転①②寺と言われている。①と②にあてはまる漢字をお答えください。

【問2】次の漢字で書かれた野菜について、その読み方を指定された文字数の平仮名でお答えください。

- A, 独活(2文字)
- B, 蚕豆(4文字)
- C, 大角豆(3文字)

**応募締切**  
5月5日  
午後8時

◆全問正解の方(1名)に、奥飛騨名産の伝統野菜を進呈します。(正解者多数の場合は厳正な抽選により決定)

◆応募方法は、メール(編集チーム・鈴木宛)をお願いします。

◆当選者のお名前は、[ネイチャーなら] 6月号に掲載します。

◆4月号の当選者は、編集後記に記載。

## ボランティア保険について



本会では、会員名簿に登録され、年度会費を納入された方には、ボランティア保険(基本タイプAプラン)に加入しています。

[基準日(4月1日)一括申し込み]基準日以降の方は、月末までを目処として手続きをしています。

事故等が発生した場合には、直ちに当会の幹事(行事責任者)に届け出て、その指示で必要な手続きをしてください。

チェンソーを使用する森林ボランティア活動については、対象者に対して別途森林ボランティア保険に加入しています。

詳細については、同封の「**全国社会福祉協議会・ボランティア活動保険**」でご確認ください。(大切に保管しておいてください。)

※従来記載していた「当会の行事における傷害事故等については、個人負担とし、当会は賠償責任等の一切の責任を負いません」との免責文言[4月号・P(10)]は、誤解を招きかねないので削除してください。

# 青垣春秋

## ◆◆「ご挨拶」◆◆

川井秀夫

既報の通り、新年度より新しい活動グループが発足致しました。発起人会において、代表幹事としてご指名を受け、面はゆい心境ながらお引き受け致しました。

奈良の地に在住して四十年余り、退職後は自然界に没入して色々と学んで参りました。自然保護、環境保全を基底としての社会活動はもとより、地球環境問題、社叢学の探求など、セカンドライフを私なりに楽しんで参りました。

最近思うことの中に、古都奈良に住し、大きな忘れ物に気が付きました。こんな身近な所に溢れるような様々な文化遺産がありながら、少し横目に歩いていたように思います。今回、有志の方から進言もあり、クラブ活動として歴史と文化を中心に、皆さんとご一緒に自己啓発に努めて行きたいと思っております。どうか宜しくお願い致します。



今年は、古事記編纂1300年の節目であり、『古事記と出掛ける旅』をテーマにゆかりの地を訪ねたいと考えていますが、古代から飛鳥・奈良・南北朝・戦国と続く時代の足跡と心の対話を重ね、現代社会にも通じる教訓を会得し、豊かな人生の糧にしたいものだと欲張っております。

会員の方々の中には、識見を持たれる語り部の方も多くおられるように思います。折々に助言を賜りご意見を頂戴したいと思います。また、専門分野の有識者の方々にも側面的に助力をお願いすることも視野に入れ、実のある企画、構成を心掛けて参ります。

まだ産声を上げたばかり、試行錯誤が続くと思いますが、皆様のご支援と御協力を御願い申し上げます。

第一回の記念行事は、4月号「青垣春秋」に掲載した通りです。ご参加をお待ちしております。

## 第1回研修会 訪問予定地

- ① 春岳院
- ② 薬園八幡神社
- ③ 外堀緑地
- ④ 売太神社

6月14日(月)





「のらの会」佐保の森に集い花の宴。  
昨年、植樹の木々も陽春を謳歌する。一本の桜また佳し。  
恒例になった修二会。例会の吉野山。一景を切り取る。

ひともとの桜咲くなり野の宴

菊川年明

素直な一句。一本の老桜が宴を盛り上げる。  
桜時ならでは。

昭和遠くなほ紅顔の花見酒

川井秀夫

古き昭和びと。まだまだ健啖。酔狂の顔・顔・顔。  
少年の如し。

老桜とともに祝わん喜寿傘寿

古川祐司

老桜に己を重ねる。いつまでも花の人生でありたい。



自然俳句

監修 川井秀夫

酔ひ痴れて紅染めては散る桜 竹本雅昭

酒は酔ふもの。もののふは落花の有り様に心が動く。

桜花満つ宴樂しむ佐保の森

八木順一

桜の下。至福の酒宴。佐保の森に乾杯。

お水取り五体投地の響く闇

古川祐司

東北復興の祈りが続く。こもり僧の行法が  
厳しく闇を通す。

歌書よりも軍書に悲し花吉野

川井秀夫

四月例会。吉野山をイメージしての一句。





## 桜色した春の戸惑い

谷川 萬太郎



季節の裏側で泣き濡れる春を思い  
やらずの雨もきっと知っていたはず  
眼下にはいつしか春霞たなびいて  
樹海の中で優美に幾重にも咲きて

訪れる旅人に優しく語りかける桜よ  
花に酔いしれ浮かれた心弄ぶ程に  
桜よ今こそ咲き誇りて世の鏡となれ  
いつか散りゆく定め<sup>の</sup>明日が来ても

待ち焦がれた今日のこの日を  
静かに時を刻む待ち人達も  
雲間より現れし桜屏風の姿  
墨絵で描くよな麗しき艶姿

汚れたこの世の乱れを洗い  
華やぐ宴に美しき彩り添える  
花びらが空高くに舞い踊りて  
桜色した思い出に染まるだけ



## 上を向いて下を向いて

竹本雅昭



◇雲：いつもきれいに櫛を入れてもらって  
気持ちよさそうだね。

◆畑：そうよ37万 km<sup>2</sup>のほんの一部だけど、  
多くの人にかわいがられてとても幸せ。

◇雲：ヘアースタイルもコロコロ変ってなか  
なかオシャレだね。真黒でピカピカと  
か、緑の羽根の下は霜柱とか、グリーン  
のモジャモジャパーマとか、針鼠の  
ような緑の毛とか他にも色々だね。。

◆畑：あゝそれは、マルチ(シート)・大根・  
サツマ芋・ネギね。他にジャガイモ・  
人参・菜葉・豆等々で楽しめるわ。

◇雲：そうかい、あんまり休む間もなさそう  
だけど、でも上(つまり空)ばかり見て  
いて摩擦などしないかい。

◆畑：いやーね、私病人じゃないわよ。

優しい人々がたっぷりチップを入れて  
耕耘機でマッサージしてくださるのよ。  
それから私の中には、<sup>みみず</sup>蚯蚓さんが住ん  
でいて、少々こそばいけどいゝ相棒よ。  
欲を言えば雲さんのように旅が出来な  
い事ね。ふわふわ地球を回ってれば、  
退屈知らずね。

◇雲：その通り<sup>おくらず ひかえず おうじて ぞうせず</sup>“不将不迎應而不藏”。  
つまり自然態、平たく言えば風来坊さ。  
得意なのは七変化、その中に雨となっ  
てお邪魔しますよ。じゃ失敬。

◆畑：田植の頃には、きっと来てよ。  
バァ〜イ。

## 今年度の「例会」活動について

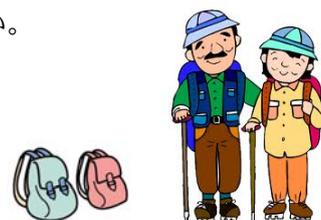
我が「奈良・人と自然の会」には、毎週1回の「ならやま景観整備活動」、毎月1回の「“例会” 自然環境観察・研修活動」、そして随時行う「子供たちへの自然環境体験学習支援活動」の三つの活動があります。この中で「例会」活動は、会設立当初から行っている伝統ある活動です。

設立10年を越えた今年から、昨年暮れに実施したアンケートなどを基にして、例会の内容をよりバラエティに富んだものにしたと考えています。アンケートの中で、特にご希望が多かった「花木、昆虫、野鳥などの自然観察会」と「歴史文化探訪」を各2回実施いたします。

担当は「自然教室チーム」とこの3月に新しく出来た「歴史文化クラブ」の同好の方々です。この他、春・秋の季節ハイキング、ウォーキング、軽登山、秋の一泊研修旅行、真夏の室内自然研修会、恒例の新春講演会等々、変化に富んだ企画を考えています。

会員の皆さま方には、関心のある企画に積極的にご参加ください。特に日頃活動に参加されていない皆さまのご参加を、心から歓迎いたします。会員以外のお友達同伴も結構です。事前の参加申し込みは不要です。集合場所に来られるのが、参加申込です。ただ会員以外のお友達の同伴の時のみ、事前にご連絡下さい。

今年度の「例会」月別年間計画は、以下のとおりです。ご予約ください。



### 平成24年度「例会」年間計画

実施日	テーマ	概 容	担 当
4月17日	春季ハイキング	吉野宮滝・万葉の道から桜の吉野山	寺田・平岡
5月22日	自然観察会Ⅰ	大阪市立大学附属植物園(私市植物園)	自然教室チーム
6月12日	ウォーキング	東海自然歩道・初瀬街道	森・藤田
7月未定	歴史・文化探訪Ⅰ	葛城氏の歴史と遺跡	歴史文化クラブ
8月未定	夏季自然研修会	大阪市立自然史博物館	藤田・寺田
9月未定	自然観察会Ⅱ	明日香のつる植物と案山子道	自然教室チーム
10月未定	軽登山	大和の展望台「龍王山」	寺田・塩本
11月未定	一泊研修旅行	世界遺産熊野古道散策と丸山千枚田	鈴木・川井・弓場
12月未定	秋季ハイキング	当尾の里と野地藏 (忘年会)	未定
1月未定	新春講演会	未定	藤田・阿部
2月未定	冬鳥探鳥会	橿原神宮「深田池」から宣化天皇陵	小田・勝田
3月未定	歴史・文化探訪Ⅱ	山の辺の伝承地	歴史文化クラブ

お問い合わせ先：寺田 孝

## 行事案内1

### 5月例会・「春の自然観察会」

＊＊私市植物園で春の魅力を探そう！

時は春！さまざまな生きものが、若々しく元気いっぱい輝いています。私市の大阪市立大学附属植物園でも「花を咲かせたよ！」「若葉を見てよ！」と、沢山の植物が、私たちの訪問を待っていることでしょう。

今年の例会は自然観察会を2回行い、それを5月と9月に自然教室チームが担当することになりました。5月は私市植物園を訪ねて、春の息吹にあふれる自然を楽しみたいと思います。自然教室チームでは、楽しい一日となるよう頑張ってお待ちしています。

- 1, 日時：5月22日(火) am 10時～  
pm 3時の予定
- 2, 場所：私市植物園  
(交野市私市2000 TEL：072-891-2059)  
入園料350円（大阪市民で65歳以上は  
証明書があれば無料）
- 3, 内容 
  - ①植物園職員による見所ガイド
  - ②自然教室チームメンバーによる植物案内
  - ③ネイチャーゲームや自然遊び など
- 4, 持参するもの：昼食、飲み物、ルーペ等の観察用具、雨具、ネイチャーゲームで使用する目隠し(手ぬぐいやバンダナなど)

#### 歴史文化クラブ・第1回研修会

- 1, 日時：5月14日(月)
- 2, 集合：近鉄郡山駅・東改札口  
am 10時

※ 詳細は4月号を  
ご覧ください!!



5, 集合時間・場所

◆ 電車で来られる場合は  
京阪電車私市駅に9時30分集合

①奈良からJRで来られる場合

J R 奈良駅8：27－（普通京都行）－8：35木津駅  
8：40－（快速宝塚行）－9：13河内磐船駅－徒歩  
5分－京阪電車河内森駅9：26－（普通）－9：28  
私市駅

②近鉄を使用される場合

近鉄京都線の新祝園駅または新田辺駅で降りて  
JRに乗換え

・近鉄新祝園駅－徒歩5分－JR祝園8：47発で

①の電車に乗換え

・近鉄新田辺駅－徒歩約10分－JR京田辺駅8：57  
発で①の電車に乗換え

◆ 車で来られる場合は  
植物園内事務所近辺に9時45分集合

(駐車料金は500円)

(なお、開園はam9時30分であり、それ以前の  
到着は入口前で待機)

6, 連絡先：自然教室チーム

倉田

平岡

何の花？



#### ならやまバードウォッチング

◇日時：5月14日(月) am 7:00集合

＊5月～8月まで夏時間(7時)です。

ご注意ください！

担当者：小田

菊川

## ならやま景観整備 & 行事案内2

### ◆活動予定日

5月	3日(木)、10日(木)、17日(木)、 24日(木)、31日(木)
6月	7日(木)、14日(木)、21日(木)、 28日(木)

◆場所：奈良市奈良阪町・佐紀町の県有林  
【ならやま会館前道路(ならやま大通り)  
の南側に広がる里山林地】

◆集合：現地ベースキャンプ地・am 9:00

◆終了予定：pm 3:00

### ◆アクセス：

- ①JR平城山駅下車、東口から南へ徒歩10分。
- ②近鉄奈良駅・バス13番乗り場  
8:23発・高の原行
- ③近鉄高の原駅・バス1番乗り場  
8:33発・JR奈良駅行
- ②③とも【佐保台西口】又は【平城大橋】  
で下車、徒歩7分。

◆携行品など：弁当、飲み物、軍手  
(作業用具は現地で用意)

◆環境保護のため、お椀、箸、コップなどは  
各自でご持参ください。

◆連絡先：木村 裕

### 【6月例会予告】

#### 東海自然歩道 初瀬街道を歩く

～ 大神神社から長谷寺へ ～

- 1, 実施日：6月12日(火)
- 2, 集合場所：JR三輪駅 am10時10分
- 3, 行程：(約10km)  
JR三輪駅⇨大神神社⇨金谷の石仏⇨  
海石榴市跡⇨玉列神社⇨白山神社⇨  
出雲・十二柱神社⇨長谷寺⇨近鉄長谷寺駅  
(pm 3時頃解散)

4, 連絡先：

森 藤田

※ 詳細は会報誌125号(6月号)でお知らせ  
いたします。

### 【6月オプション行事】

3月31日に予定しておりました3月例会『和爾の里を巡る』が荒天のため中止となりましたが、改めて下記のとおり催行致します。ぜひこの機会に、ロマンに満ちた大和豪族のルーツを皆さんと共に巡りたいと思います。ご参加をお待ち致します。

#### \*\*\*和爾の里を巡る\*\*\*

～謎の豪族和爾氏と天才歌人・人麻呂の  
ルーツを探る～

1. 日時：6月2日(土)

2. 集合：JR桜井線

櫛本(いちのもと)駅改札口前 am10時

#### 【交通ダイヤ】

\* JR利用

【奈良より】・JR奈良駅9:40⇒JR櫛本駅9:50

【桜井・天理より】・JR桜井駅9:38⇒JR天理駅  
9:55⇒JR櫛本駅9:58

\* 近鉄利用：橿原神宮前行

(平端駅で天理行に乗換)

西大寺駅9:26(各停)⇒平端駅9:40(乗換)

⇒平端駅9:44⇒天理駅9:55⇒JR乗換

※天理駅の乗換時間が短く、急いで下さい。  
奈良行きに乗車のこと。

3. コース

櫛本駅⇒歌塚・柿本寺跡⇒和爾下神社・古墳

⇒白川ダム(昼食)⇒和爾坐赤坂比古神社

⇒櫛本高塚遺跡⇒東大寺山古墳⇒櫛本駅

※【歩程8km平坦 pm4時頃解散】

4. 準備：弁当持参、飲み物、筆記用具、  
案内資料(当日配布)

5. 案内役

川井 水本

#### ※申し合わせ事項※

野外行事等は、前日pm7時  
前のNHKTV天気予報で  
降水確率が午前60%以上の  
場合は中止になります!!



## 大和伝統野菜くらぶ

ふるさとじまん農産物・伝統野菜・地産地消など、各府県の特産品として特徴をアピールできる農産物と”こだわり”野菜が、近年注目されるようになってきました。

農林水産物・食品地域ブランド化支援事業の一環として、全国各地で〇〇〇研究会が組織され、産地紹介や調理方法の研修などの取り組みが、活発に行われています。

大先輩の樋口善雄さんをリーダーとして、3年前から「大和伝統野菜」の栽培にチャレンジしました。現在22品種の中から「大和薯」「大和真菜」「紫唐辛子」「ひも唐辛子」「大和菊菜」「千筋水菜」「小生姜」の7種類を栽培しています。その他にも他府県の伝統野菜も手掛けつつあります。吹田の「慈姑」と奥飛騨の「宿籬南瓜」は、昨年から植え付けています。

今年は、最上の「里芋」と大阪市住吉区の「田辺大根」も栽培することにしました。最上の里芋は、室町時代から一子相伝で代々伝わっている伝承野菜です。また、近年、大根の趣向は、青首大根に向いていますが、田辺大根は丈の短い大根です。天保7年(1836)の「名物名産略記」にその名が載っています。そして、大正14年(1925)編纂「田邊町誌」には、「本町にあつては遠き昔より其の風味頗る美にして、各方面の歓迎を受けたる大根を特産せり。・・・世に之を田邊大根と称し、其の名全国に聞こえたり。」とあります。

今冬の「芋煮会」は、乞うご期待です！  
作物の出来栄は、土壌と気候風土に大きく影響を受けます。特産地と全く同じ条件つまり環境を保つことは、至難の技です。少しでも近づけることができるように、努めてみようと思っています。

会員の皆様方で、”伝統野菜”に関わる話題などを側聞されましたら、貴重な情報として是非ともお知らせください。



①



②

③



①最上里芋

②田邊大根

③宿籬南瓜



## ならやまのph.

撮影：守口京子



①



②



③



④

「ならやま里山林」&「ならやま自然の森」で3月下旬から4月上旬に撮影したものです。

①～④は、何でしょうか？(答えはP. 8)



### 平成24年・4月度 幹事会報告

日時：平成24年4月3日(火)

18:00~21:00

会場：中部公民館

出席者：幹事12名、顧問1名

案件：

- ①会員数141名
- ②ならやま駐車場と灌漑池工事について
- ③平成24年度予算案(第一次)について
- ④総会議案書案について
- ⑤新役員候補案について

### ペン画に寄せて

#### 境 寛

山の辺の道は青垣の山麓に続く古の道で、大和盆地から金剛生駒の山系を望む、桜井と奈良を結ぶみちですが、桜井~天理間か天理~奈良を分けて歩く人が多いようです。

『記紀の故地』、『古墳』、『石仏』そして『万葉歌碑』を巡るハイカーでにぎわう古道です。訪れる人を神話や古代ロマンの世界へといざないます。また、絵心を掻き立てるみちでもあります。

## 編集後記

◆桜前線が日本列島を北上し、青垣の山並みが、緑織りなす好季となってまいりました。いよいよ春本番です。

◆ならやま里山林プロジェクトは、一定の成果を挙げ、当初の面影はなく、素晴らしい里山の風情を醸し出しています。今年度からプロジェクトの呼称を外し、「ならやま景観整備」と称して、各種事業を推進していくことになりました。[ならやま里山林][ならやま自然の森][佐保自然の森]という、それぞれ異なるコンセプトを掲げて、整備活動に取り組んでいくこととなります。

◆4月号の[奈良学&難読野菜名]クイズに多数の方からご応募いただき有り難うございました。正解は、【A】東大寺【B】興福寺【C】室生寺【D】とまと、ばんか、あかなすび【E】わさび【F】とろろいも です。正解者は、小田久美子・青木幸子・富井忠雄・小島武雄・田中暉英・吉村さつき 以上の皆さんでした。【宿雛(すくな)かぼちゃ】は、苗床で大きく成長しています。収穫時までお待ちください。(第一回記念に全員に進呈したいと考えています。)

### ~ From the editors ~

◆佐保台小の6年生の皆さんから、昨年の体験学習の感想と礼状が届きました。感性の素晴らしさが随所に滲み出ています。日本の食糧事情について、更に学習を深めてくれるものと期待しています。

「感謝の気持」を忘れず、“個性の数だけの夢実現”を目指して頑張ってください。(里山人)

6月号の印刷・発送予定について

日時:平成24年5月28(月)午前9時~

場所:奈良市ボランティアセンター

奈良市法蓮町1702-1 TEL0742-26-2270

※皆様方のご協力をお願いいたします。

### 奈良・人と自然の会

会報誌[ネイチャーなら]編集チーム・代表

鈴木末一